

## 5 戦略

Hondaのサステナビリティ	14
持続的な成長のために	15
2030年ビジョン	16
マテリアリティ分析	17
サステナビリティマネジメント体制	18
ステークホルダーエンゲージメント	19
研究開発	22

### — イノベーションマネジメント …… 23

## イノベーションマネジメント

Hondaの研究開発子会社である株式会社本田技術研究所は、従来の機械工学に加えて、脳研究や視覚・聴覚認識など最先端の知能化研究をさらに進化させることを目的に、2003年に株式会社ホンダ・リサーチ・インスティテュートを設立。ドイツ・フランクフルト、米国・シリコンバレー・コロンバス、日本・埼玉県和光市に拠点を設け、先進科学研究者とのネットワークを構築し、研究に取り組んできました。

また、株式会社本田技術研究所の米国・シリコンバレーにある同社の子会社である現地法人 Honda R&D Innovations, Inc. では、2015年より、オープンイノベーションを通じて革新的な製品やサービスを作り出すプログラムとして、「Honda Xcelerator (ホンダ・エクセラレーター)」を、シリコンバレーを中心に、イスラエル、欧州、中国、日本などで推進しています。Honda Xcelerator は、革新的なアイデアを持つスタートアップ企業に対し、資金援助やコラボレーションの場、テスト用車両、Hondaのメンターによるサポートなどを提供するプログラムです。パーソナルモビリティ、自動運転、人工知能、先進素材、ロボティクス、エネルギー、ヒューマン・マシン・インターフェース、製造技術などの領域を開発対象として、共創を通じたモビリティやエネルギーマネジメントの進化をめざしています。

株式会社本田技術研究所は、この Honda Xcelerator を通じて、世界各地のスタートアップ企業と、相互にメリットのある戦略的関係を築き、新たな技術やビジネスモデルを採用した、将来の製品やサービスの研究開発を強化しています。

一方、日本でも知能化研究開発を加速するために、外部有識者や研究機関との連携を図る共創の場として、新拠点「HondaイノベーションラボTokyo (英語名称: Honda R&D Innovation Lab Tokyo)」を、2017年2月に東京・赤坂に開設しました。

さらに2017年4月に「ロボット技術」「モビリティシステム」「エネルギーマネジメント」などの新価値領域を担う研究開発組織として、「R&D センター

X (エックス)」を新設しました。R&D センター X では人のすばらしさが際立つロボティクス社会の創造を実現するために、オープンイノベーションを通じ、外部との戦略的な連携を図ってきました。